

ほりにししももりど  
堀西下森戸遺跡

秦野市 No.143 遺跡



1. 遺跡周辺空中写真



2. J1号住居跡、K1号地下式坑



3. C1号波板状凹凸遺構



4. 堀西大絵図と波板状凹凸遺構の位置

● 主な調査成果

2022年6月から11月まで整理作業を行いました。遺跡は神奈川県西部の秦野盆地の北西部、扇状地の扇頂に近く、水無川と四十八瀬川に挟まれた台地上に立地しています。標高は256～260mです。調査の結果、縄文時代から近世にいたるまでの遺構や遺物が発見されました。縄文時代早期～前期では集石、土坑、石列を発見し、後期前葉では敷石住居跡を1軒発見しました。弥生時代では焼土跡1基と前期末～中期初頭の土器が出土しました。中世では地下式坑を1基発見しました。それぞれ単独の発見でしたが、調査事例の少ない地区として、今後の近隣の調査事例と結びつくものとなりました。また、中世の波板状凹凸遺構は道の下部構造の可能性が高く、明治前期の大絵図にも図示される道の走行方向と一致しており、近・現代に続く道の前身とも捉えられ、地域の歴史をひも解くうえでの貴重な成果となりました。

- 調査期間 2017年3月1日～2017年6月15日
- 事業者 中日本高速道路株式会社
- 調査原因 新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、弥生、縄文
- 所在地 秦野市堀西
- 遺跡位置 小田急小田原渋谷駅から北西約2.5kmの台地上

